

三田村 信 山岳図絵展

～岩手山・八幡平周辺の山々～

2023・11/2 (木)～2024・2/25 (日)

岩手山麓で暮らし、長らく「八幡平散策ガイド」を務めてきた故・三田村信さん。独自の図絵を製作して参加者に配り、案内してこられました。図絵は、鳥観図的に地形の特徴が描かれ、季節の花々や名所などが細やかに描き込まれ、その山の概要が一目でわかる素晴らしいものでした。これまで一般には知られることがなかった三田村さんの残された図絵の中から、岩手山・八幡平周辺の山々を選び、展示紹介いたします。山岳図絵から浮かび上がる故郷の自然をお楽しみください。



【三田村信プロフィール】八幡平自然散策ガイド。自然観察指導員。昭和9年(1934年)旧・西根町田頭生まれ。盛岡中学校(現・盛岡第一高等学校)卒業、長らく特別支援学級の教諭を務めた。退職してからは、八幡平をはじめ東北各地の自然ガイドとして活躍した。平成30年(2018年)没。享年84。

冬・早春の七滝ツアー ご予約・お問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

七滝氷瀑
スノーシューツアー

2024年2月10日(土)

8:30～13:00

【定員】15名【参加費】2,000円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

厳冬期、迫力ある氷瀑となる七滝。動物の足跡や木々の冬芽などを観察しながら七滝を目指します。初めての方でもスノーシューの履き方歩き方からお教えしますので安心です。



七滝氷瀑
ナイトツアー

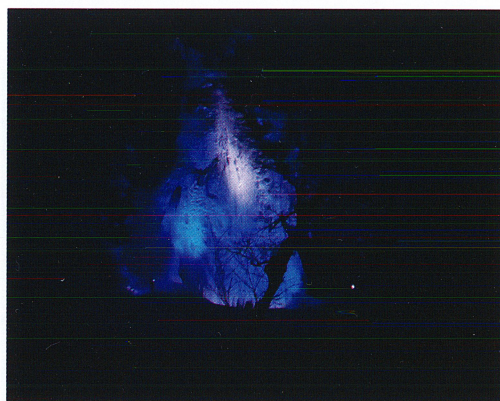
2024年2月3日(土)

15:30～18:30

【定員】15名【参加費】3,500円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

夜の七滝氷瀑や森のなかには、日中とは全く異なる表情をしています。夕暮れの岩手山麓の森を月明かりを頼りに歩いて七滝へ。いつまでも心に残る真冬のとっておきの夜です。



早春の七滝・巨木
スノーシューツアー

2024年3月10日(日)

8:30～15:00

【定員】15名【参加費】2,500円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

春が近づいてくると、積もっていた雪が溶けてなくなり、七滝を堪能したあと、すこし足を伸ばして、無雪期は笹藪で近づくことが困難な場所のブナやミズナラの巨木や大木に会いに行きます。



【プライベートガイドも承ります】プライベートでゆっくりと、岩手山麓の自然を心ゆくまで満喫できます。

イベント以外の日、1週間前までの予約制。ご家族やグループの利用など、人数が揃えばお得です。団体様もお問い合わせください。スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)。キャンセルされる場合は1週間前を過ぎるとキャンセル料が発生します。

県民の森スノーシュー散策 約90分 7,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

七滝氷瀑スノーシューツアー 約3～4時間 10,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

七滝氷瀑・巨木スノーシューツアー 約4～5時間 15,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

木材工芸センター「木工教室」 ご予約・お問い合わせ 木材工芸センター☎0195-78-4115

巣箱・餌台 2024年3月24日(日)

2,000円 定員5名

場所: 木材工芸センター

時間: 9:00～15:30

着色料: 別途1,000円

持ち物: 昼食・ゴム手袋等

岩手県森林公園

県民の森だより

2024.
2
Vol.217

発行 岩手県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



七滝周辺のブナ巨木 2023年2月23日

積雪量が増してくると笹藪が埋まり、無雪期には行くことが困難だった場所にも行かれるようになります。気になっていた場所を探検してみたり、巨木・大木を探して歩いたり、冬だけの贅沢な楽しみを味わってみませんか。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間: 9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)
@forest_iwate



冬、木と友達になる。

無雪期には笹藪で行くことのできない場所にある木。七滝周辺には大木も多く、新しい出会いがたくさんあります。雪景色の中で見る木は、葉が茂っている季節とは異なる親しみがわきます。お気に入りの木を探しに森へ行きませんか？



【オオヤマザクラ大木】2023/2/21
七滝までの登山道の途中、すこしだけ道を外れた場所にあります。葉が茂っていると見逃してしまいがちですが、冬は良く目立ちます。



【ミズナラ大木】2023/2/1
七滝まで登山道の主要な木ですが、七滝周辺まで歩くと、立派な大木が増えてきて壮観です。



【トチノキ大木】2022/2/15
七滝周辺には何本か大木があります。



【イタヤカエデ大木】2023/2/28
風格のある老木です。



【ハリギリ（センノキ）大木】2023/2/1
コルク質の樹皮は触ると暖かいです。



【ウダイカンバ大木】2023/3/1
シラカンバの仲間ですが、寿命は長く、大木になります。材が美しく最高級品とされています。



【ウリハダカエデ】2022/2/15
若木の特徴のある模様は、マクワウリの実に似ており、名の由来になっています。



【ヤドリギ】2023/2/8
木に沢山ついている鳥の巣のようなもの。木に寄生している「宿り木」です。

針葉樹の美しさ



【アカエゾマツ】2023/2/22
七滝登山口から北側を見下ろすと見られる整った美しい樹形。雪を被った姿は荘厳です。



【ウラジロモミ】2023/1/27
吹雪でも、常緑の枝の内側はシェルターの中のように穏やか。みずばしょう園奥で見られます。



【トドマツ】2021/2/16
雪景色のなか、灰白色の特徴的な樹皮はとても印象に残ります。昭和の森や七滝手前で見られます。

冬のホオノキ

日本最大の葉と花を持つホオノキは岩手山麓に多く自生しています。根元から枝分かれして株立ちすることが多く、冬はその樹形が露わになり、異様な迫力があります。ホオノキは高木ですが、大きな実が冬も残り、見上げると目立つので見つけやすいです。運がよければ食事をするリスや野鳥の姿を見ることも出来ます。



【ホオノキ大木】2022/2/21 七滝周辺にて



【ホオノキの実を食べるリス】2023/2/4



【中から実を取り出してムシャムシャ】2023/2/4

学習館ではレンタルもあります

時間：9：00～16：00
スノーシュー1台 1,000円
(ダブルストック付・子供用も有)
ダブルストック 500円
ソリ1台 大500円・小100円
スノーチューブ 2時間600円



県民の森の植物 71 コシアブラ (ウコギ科 コシアブラ属)

「山菜の女王」とも呼ばれるコシアブラ。独特の香りとコクが人気で、仲間のタラの芽(タラノキの新芽)と並ぶ山菜として食されています。昔はコシアブラの木の樹脂を塗料にしたことが名の由来。新芽を採っていると、手が油でツヤツヤになります。葉は掌状複葉で5枚の小葉を持ちます。トチノキの葉に似ていますが、小葉に柄がある方がコシアブラです。秋の黄葉も独特で、透きとおったレモン色です。他にこのような色に染まる木はなく、山の彩りに華を添えてくれます。七滝登山道では低木ばかりが目につきますが、じつは高木も多く、美しい落ち葉ではじめてその存在に気付かされます。秋に出来る果実は熟すと黒くなり、野鳥たちの貴重な食糧となります。ウコギ科の木は冬芽も独特で、コシアブラは人間の爪に似ています。葉痕は真珠のネックレスのよう。まるでイモムシのようにも見えて可愛らしく、出会うと嬉しくなる冬芽です。



【冬芽】3/9



【芽吹き】4/17



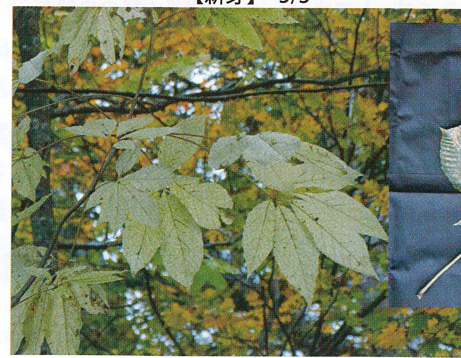
【新芽】5/3



【新緑】6/11



【果実】9/28



【黄葉】10/19



【左：トチノキ/右：コシアブラ】